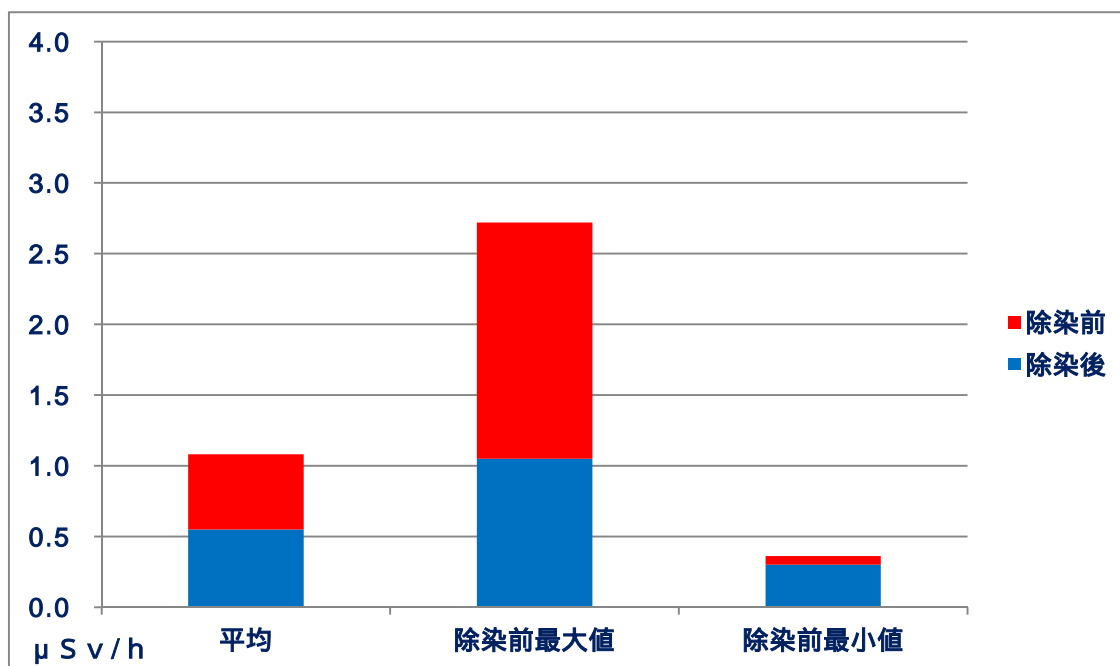


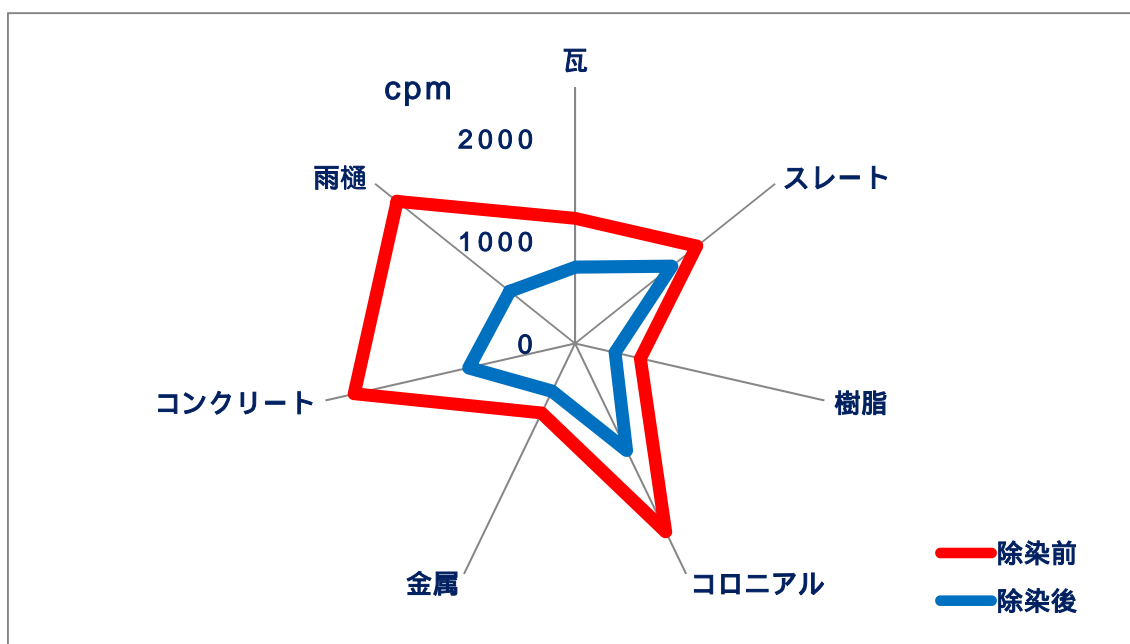
## 高倉地区空間線量率 玄関前



	除染前 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	除染後 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	低減率 (%)	測定点の数 (点)
平均	1.08	0.55	49.1	109
除染前最大値	2.72	1.05	61.4	
除染前最小値	0.36	0.30	16.7	

・除染により、空間線量率が除染前と比較して平均で49%低下しました。高倉地区全体空間線量率と比較して低減率が高いのは、玄関が敷地のおおよそ中心にあり、周囲からの放射線の影響を比較的受けにくかったためと考えられます。

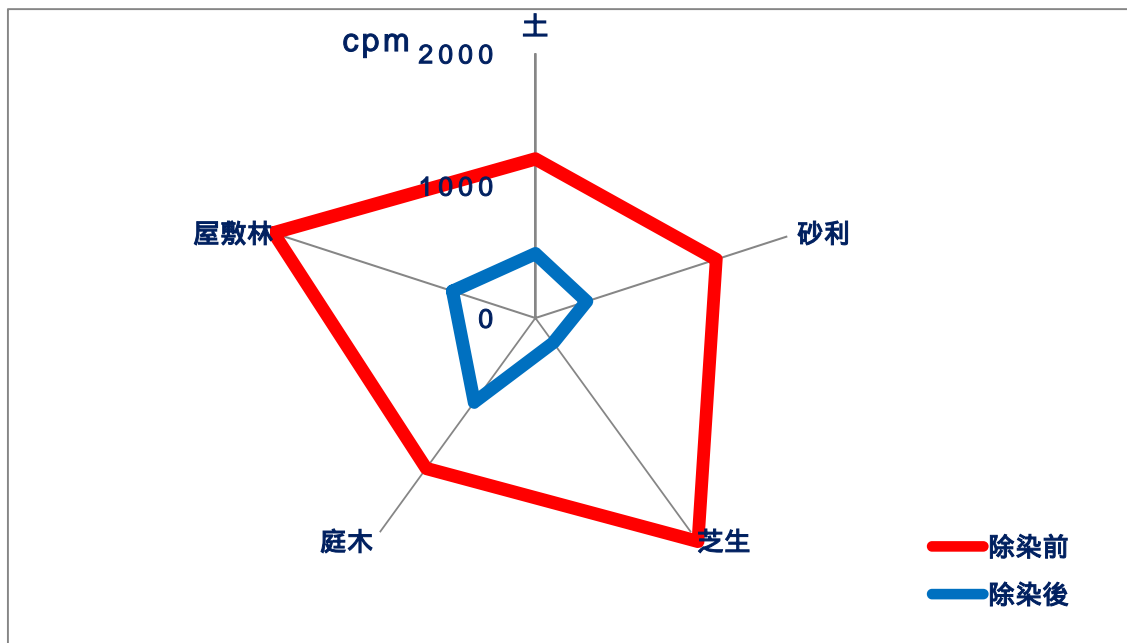
高倉地区表面計数率（平均）  
屋根



	除染前 ( c p m )	除染後 ( c p m )	低減率 ( % )	測定点の数 ( 点 )
瓦	1222	745	39.0	107
スレート	1522	1207	20.7	8
樹脂	656	401	38.9	73
コロニアル	2042	1161	43.1	12
金属	753	517	31.3	192
コンクリート	2213	1064	51.9	6
雨樋	2224	817	63.3	182

・素材により、汚染状況・低減率に大きく違いが見られます。雨樋部分の低減率が高いのは、雨樋内の放射性物質が多く付着している堆積物を取り除いたためと考えられます。

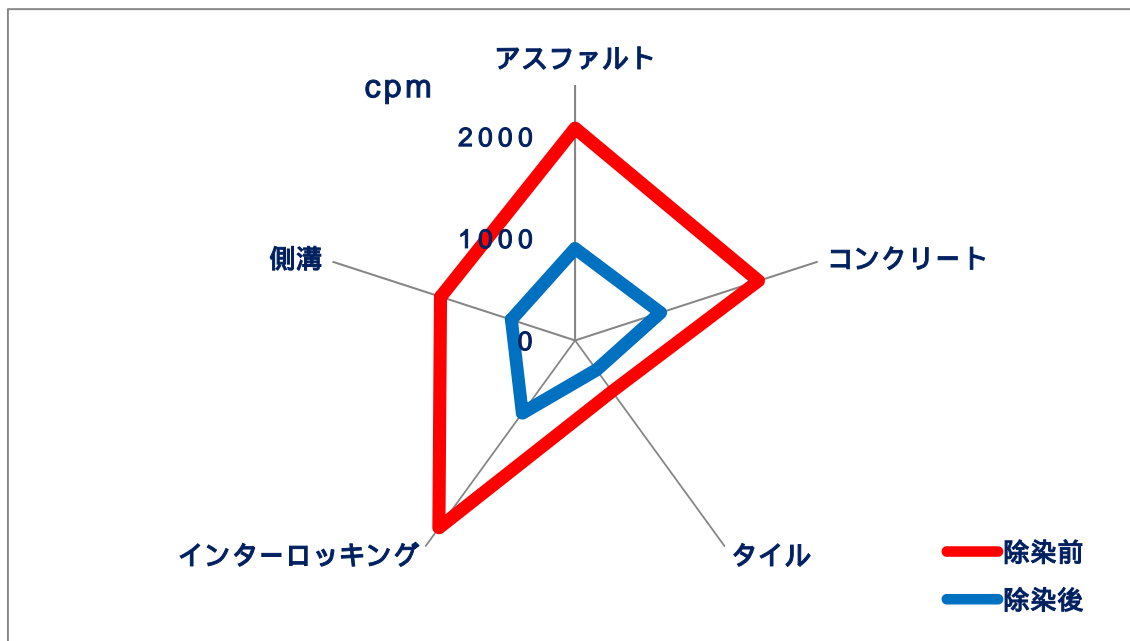
## 庭・屋敷林



	除染前 ( c p m )	除染後 ( c p m )	低減率 ( % )	測定点の数 ( 点 )
土	1204	487	59.6	100
砂利	1436	405	71.8	130
芝生	2088	229	89.0	12
庭木	1405	787	44.0	111
屋敷林	2081	659	68.3	123

・庭木以外は除染前と比較して、それぞれ50%以上の低減率が見られます。

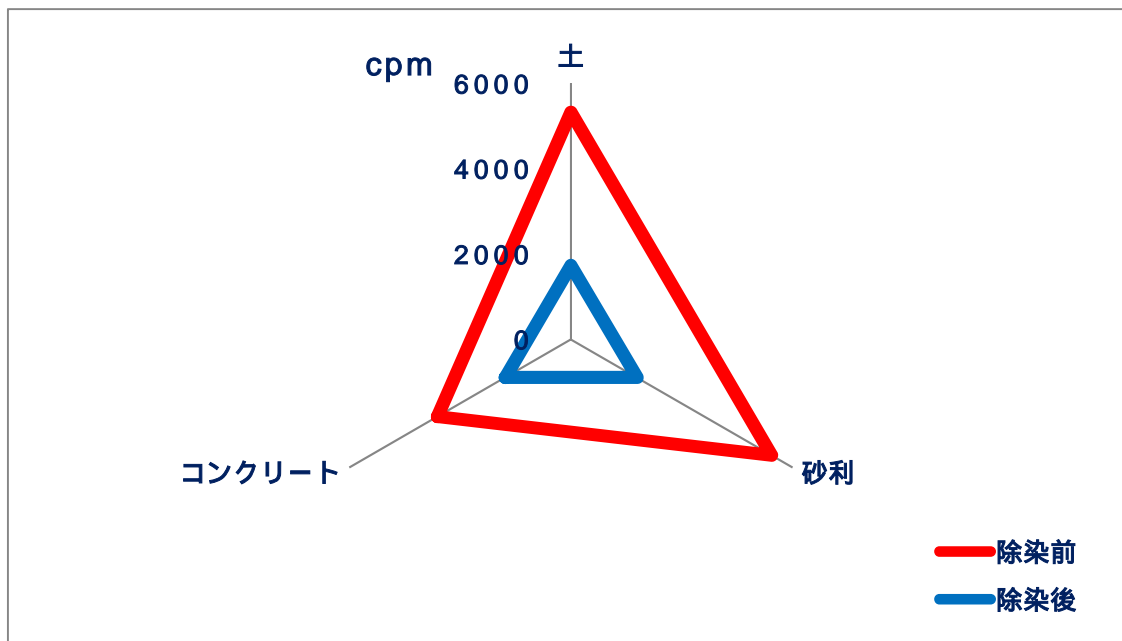
## 舗装面



	除染前 ( c p m )	除染後 ( c p m )	低減率 ( % )	測定点の数 ( 点 )
アスファルト	2081	901	56.7	31
コンクリート	1891	882	53.4	93
タイル	618	359	41.9	40
インターロッキング	2271	882	61.2	13
側溝	1384	656	52.6	31

- ・タイル素材以外は除染前と比較して、それぞれ50%以上の低減率が見られます。
- ・タイル素材は除染前に計測された数値が低いので、元々あまり汚染されていなかったと考えられます。

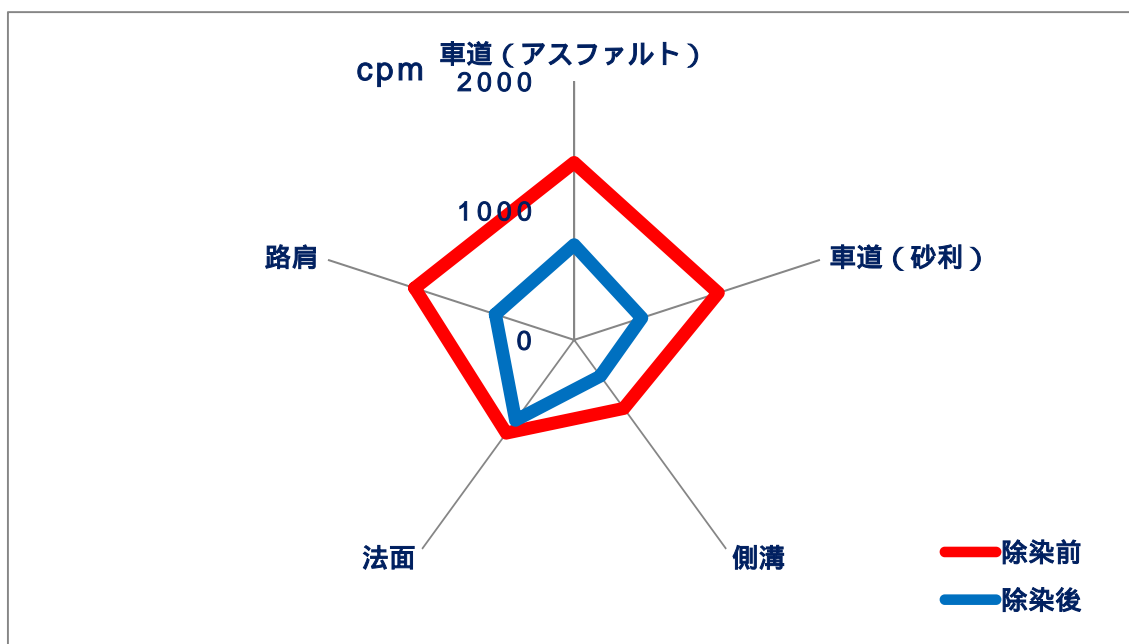
## 雨樋下・軒下



	除染前 ( c p m )	除染後 ( c p m )	低減率 ( % )	測定点の数 ( 点 )
土	5330	1734	67.5	130
砂利	5432	1787	67.1	160
コンクリート	3619	1782	50.8	140

- ・ 除染前は素材に関係なく高い数値を記録しています。
- ・ 除染を行うことで、それぞれ50%以上の低減率が見られます。

## 道路



	除染前 ( c p m )	除染後 ( c p m )	低減率 ( % )	測定点の数 ( 点 )
車道 (アスファルト)	1370	734	46.4	417
車道 (砂利)	1171	549	53.1	233
側溝	655	348	46.9	134
法面	891	770	13.6	347
路肩	1295	640	50.6	472

・法面の低減率が低いのは、崩落の危険性があるため表土除去が行えず、除草のみの除染作業だったためと考えられます。